もずく&サンゴ新聞

エシカルってなに？

うろこ
サンゴ
チーム
守

みなさんはエシカルと聞いて、どういう物かわかりますか。エシカルとは、人、社会、かんきょうにやさしいお金や生活のしかたです。

エシカルしょうひってどんなものがあるの？

①地産地消　②障がい者が作ったもの
③伝統工芸　④おうえんしょうひ

があります。

井ゲタ竹内のもずくの商品は売ったあとのお金は会社から二円ずつサンゴの増加のためにきふされます。

糸もずくと太もずくのちがい

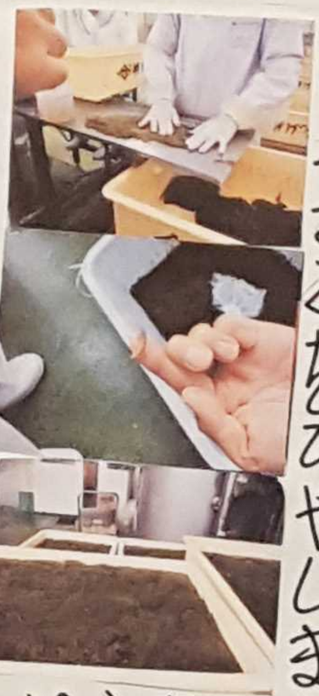
糸もずくはまわりがヌメヌメしてる。太もずくは中心が空どうになっている。糸もずくは1～2月で太もずくは4～6月です。

豆ちしき
恩納村は水がきれいだから光が水中に入ってきてもずくがそだちます。

もずくが出荷されるまで!!

次は、もずくがパックにろまでの行程を説明します。まず白衣を着る人がいます。なども工場に入ると異物が入っていないかチェックします。異物には、小魚や海サ藻などがあります。もずくは、沖縄県の恩納村でとれています。

次に殺菌をするためにパイプの中にもずくを通します。そしてあみを使ってもずくをひやします。

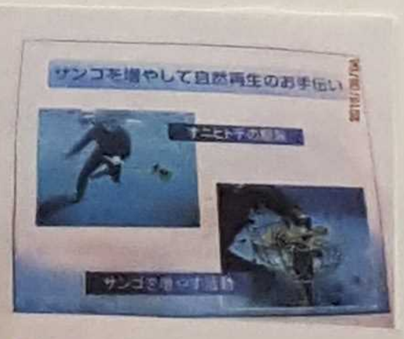


次にもずくをパックに入れます。パックに入れる時には、センサーがはみ出したもずくはでとります。

そしたらふたをはってできあがりです。あとは、トラックでお店まではこびます。

まとめ

今サンゴの白化現象が問題となっています。温暖化で海水温が上昇して白化する。オニヒトデが異常繁殖してサンゴを食べてしまう。



サンゴを守るためオニヒトデの駆除やサンゴを増やす活動をして自然再生する。

もずくの作る行程が分かってよかったし、糸もずくと太もずくのちがいが分かってよかったです。

これからは、エシカルのことを考えながら買い物をしたいです。

サンゴの危機